2020 年度 宮城県災害医療従事者研修会を実施しました（2020/7/19）

テーマ：災害時保健医療福祉のコーディネート、COVID-19 対策
場　所：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市）、石巻合同庁舎（宮城県石巻市）

2020 年 7 月 19 日（日）、宮城県仙台市の東北大学災害科学国際研究所および石巻市の石巻合同庁舎において、2020 年度宮城県災害医療従事者研修会（web）が実施され、県内の災害医療関係者（医療従事者、宮城県庁含む行政職員、保健所職員、消防職員など）46 名がサテライト会場となる当研究所で研修を受講しました。

この研修会は、宮城県より業務委託された NPO 法人災害医療 ACT 研究所が実施する県内の災害保健医療福祉従事者向け研修の一つで、各セクターの第一人者から災害保健医療福祉やコーディネートに関する最新の知見について講義を受け網羅的に学習できる、一日研修会となっています。文部科学省補助金事業「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」とも共催となっており、プログラム運営企画委員会委員・実習コーディネーターを務める佐々木宏之准教授（災害医学研究部門 災害医療国際協力学分野）が会場責任者として運営にあたりました。

昨年度は 120 名が当研究所で受講する大規模な研修会でしたが、今年度は新型コロナウイルス感染症蔓延を鑑み、メイン会場となる石巻合同庁舎で 46 名、サテライト会場の当研究所で 46 名、他に web で 61 名が分散受講する形となりました。3 密の回避、体温測定など「東北大学催事等開催時の新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」に沿って研修会を運営しました。

入口で体温測定

症状の有無などを問診

受付前では社会的距離を保って

受講者、スタッフの健康チェック

受付はフェイスシールド着用

席を間引いて 1 テーブルに一人

石巻からの webinar

マイクカバー（適宜交換）

最後は全員でアルコール清拭

文責：佐々木宏之（災害医学研究部門）